

おう吐物の処理方法



事前に職員の動きを決めておきましょう。
おう吐の現場にいた人は、まずあわてず応援をよび

- おう吐処理をする人
- 吐いた利用者の世話をする人
- その他の利用者の世話をする人
- 窓を開ける人 など

チームで対応しましょう。

1 用意するもの

消毒薬などは利用者の手の届かないところにおくなど、事故防止にも注意!



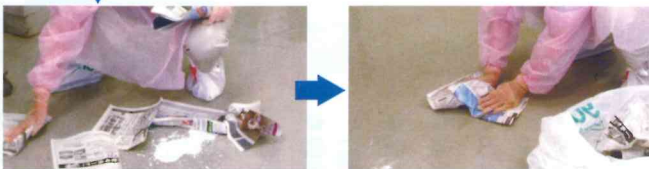
必要な物品はまとめて各室・各フロアに準備します。
身につけるものは使い捨てがよいでしょう。

2 処理する人の装備



3 おう吐物の処理(集めて捨てる)

①必ず窓を開ける



②外側から中心に

③こすらず、すくい取るように

必要なものをそばに置いて処理開始。
ウイルスを広げないように注意してすくい取るようにします。
すくい取った紙は、すぐにゴミ袋に入れます。

4 床面の消毒

①やや広めにペーパータオルを置く



②ペーパータオルに塩素系漂白剤をふりかける。



④10分たったら消毒終了



③おう吐物をふきとった後は、0.1%塩素系漂白剤で浸すように10分程度消毒します。

注意
カーペットなどは変色する場合があります。

⑤消毒のあとは水ぶきします。

5 処理後(脱衣・手洗い)

①足カバーをはすす



④手袋は表面についたウイルスがとびちらないよう、表面を包み込むように裏返してはすします。



②身につけた物はウイルスで汚れています。素手で触らず、静かにはずしてゴミ袋にいれます。足カバーがなかったらクツの裏を塩素剤でふきます。



⑧処理した後は石けんで十分手を洗います。感染の可能性があるので48時間は体調に注意して!



⑦捨てるものをすべてゴミ袋に入れたら0.1%塩素系漂白剤をしみこむ程度にいれて消毒袋の口をしぼる。(空気を押し出さないように)



流行期には、適切に希釈した塩素液を作っておくと便利。

★冷暗所保管で半年程度もちます。

消毒薬の作り方

[5~6%塩素系漂白剤使用]

★0.1%塩素液は
500mlペットボトルの水にキャップ2杯の塩素系漂白剤を入れる。

★0.02%塩素液は
2ℓペットボトルの水にキャップ2杯の塩素系漂白剤を入れる。

注意
「濃ければ効く」は間違い!

ノロウイルスの基本知識

ノロウイルスって何？

胃腸炎をおこす原因は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどさまざまですが、感染が広がりやすいのはノロウイルスです。

<ノロウイルスの特徴>

- 感染力が強く、少しのウイルスでも感染します。
- 子どもだけでなく、大人もかかります
(ロタやアデノは大人がかかっても症状が出ないことが多いようです)
- 症状は嘔吐と下痢です。子どもは嘔吐が多く、大人は下痢が多いようです。
- 潜伏期間は24～48時間です。
- 症状がおさまった後もしばらくウイルスが便に排泄されます。
- アルコール消毒は十分な効果がないと考えられていて、消毒は次亜塩素酸ナトリウム(商品名ハイター・ピューラックスなど)や85度以上の加熱でおこなうことが必要です→消毒薬の使い方・作り方参照

感染防止のために

- 食品は中心部まで85度1分以上の加熱をして食べる(生力キ、とりわさ、牛刺しなど要注意!)
- 嘔吐や下痢の症状があれば、原因は分からなくても感染症予防の対応をおこなう(裏面の処理の仕方を参照)。
- 石けんと流水で手洗いを正しく十分におこなう。タオルの共用はしない。
- 嘔吐や下痢で汚れた場所は0.1%次亜塩素酸ナトリウム液で10分浸す。
- 患者が触れる場所や集団で使う場所は0.02%次亜塩素酸ナトリウム液でふき取る。
- 汚物のついた衣類や食器などは、汚物を拭き取った後0.1%次亜塩素酸ナトリウム液に漬けた後、洗浄する。消毒液を使えない布団やカーペットは廃棄が望ましいが、消毒する場合は奥まで85度以上になるよう加熱をする(業務用布団乾燥機やスチームアイロン等を利用する)。
- 症状のある人・症状が治まって間もない人は、調理や配食・配膳の仕事に携わらない。

* 消毒方法など具体的なご質問は、
保健所にお問い合わせください



どうやって感染するの？

感染力が強いので、思いがけない形で感染することがあります。

<感染経路>

- ウイルスのついた食品を加熱不十分で食べる。
- 患者の排便の後の手や、嘔吐物や便などを処理した人の手にウイルスが付き、手から食品・食器・おもちゃなどにウイルスが付いて口に入る。
- 嘔吐した際にウイルスが舞い上がり、近くにいた人に付着したり、吸い込んだりする。
- 嘔吐物や下痢の処理が不十分で生き残ったウイルスが、その場所を触った人に付いたり、乾燥して周囲の人が吸い込んだりする。

1
豆知識

検査

ノロウイルスの検査は簡単にはできません。また特効薬もないので通常は検査をしないことがほとんどです。症状で診断します。

2
豆知識

消毒薬の使い方・作り方の目安

市販の塩素系消毒薬(商品名ハイター・ピューラックスなど)を適切に薄めて使います。商品によって塩素の濃度が違うので、よく確認します(ハイターは塩素5%液です)。保存する際は光に当たらない場所で栓を閉めて保管します。誤って口にしないよう注意してください。

- 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液
(患者の嘔吐物や便などで汚れた物の消毒)
500mlペットボトルの水にペットボトルのキャップ2杯のハイター
- 0.02%次亜塩素酸ナトリウム液
(よく触れるドアノブ、蛇口、おもちゃなどの消毒)
2リットルペットボトルの水にペットボトルのキャップ2杯のハイター